

5. 厚生労働科学研究費補助金（免疫、アレルギー疾患政策研究事業）
分担研究報告書

職場における花粉症がもたらすプレゼンティーズムの評価

分担研究者 諏訪園 靖 千葉大学医学部衛生学 教授

研究要旨

花粉症によるプレゼンティーズム（出勤しているが生産性が低下している状態）の実態を調査するため、WFun 評価指標と WAPI-AS を用いた調査を実施した。9 社の従業員 6,613 人中 1,316 人から回答を得た（回答率 20%）。結果、全体の 43.7%が労働機能障害を呈し、花粉症有訴者の約 46.4%がプレゼンティーズムを経験、中等度以上の機能障害は 18%であった。WAPI-AS の VAS スケールでは 34%が支障度 5 以上と回答した。

研究協力者

郡山みな美 千葉労災病院 医員
米倉修二 千葉大学耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学 准教授
金子光裕 横浜労災病院勤労者医療センター

A. 研究目的

日本における花粉症患者数は推定 3,000 万人に達し、1998 年比で 2.3 倍、2008 年比で 1.3 倍に増加している。2009 年の調査では労働生産性の障害率は 33-42%と報告されている。花粉症は生命に関わる疾患ではないが、症状が仕事のパフォーマンスに与える影響は大きく、プレゼンティーズムの原因として注目されている。本研究では、花粉症によるプレゼンティーズムの実態と経済的影響を客観的に評価することを目的とした。

B. 方法

調査対象と期間

全 9 社（製造業・電気ガス業・電気機器業・サービス業）の従業員を対象に、23 間からなるアンケート調査を実施した。花粉飛散ピーク時の 2025 年 3 月 1 日から 31 日までの期間に行った。

評価方法

1. WFun (Work Functioning Impairment Scale) : 7 つの質問項目（5 段階評価）で構成され、スコアは 7-35 点。14 点以上で労働機能障害と判定する。
 - 7-13 点：問題なし
 - 14-20 点：軽度労働機能障害
 - 21-27 点：中等度労働機能障害
 - 28-35 点：高度労働機能障害
2. WAPI-AS (Work Activity and Productivity Impairment - Allergy Specific) : アレル

ギー症状特異的な労働生産性障害を測定する指標。0-10 の VAS スケールで評価。

C. 結果

1. 花粉症の有病率：回答者 1,316 名中、花粉症有訴者は 707 名（55.7%）
2. WFun 評価：花粉症有訴者 707 名中 328 名（46.4%）が労働機能障害（WFun 得点 14 点以上）を示し、中等症以上（21 点以上）は 18%
3. WAPI-AS 評価：全体の 34%が支障度 5 以上と回答。WFun 重症度別では、「問題なし」22%、「軽度」42%、「中等度」52%、「高度」57%が支障度 5 以上と回答し、重症度に伴い増加傾向を示した。

D. 考察

WFun 評価指標と WAPI-AS を併用することで、花粉症によるプレゼンティーズムをより多角的に評価できた。WFun は様々な健康問題による労働機能障害を統一的に測定でき、WAPI-AS は花粉症特有の労働生産性低下を直接評価できる。WFun で機能障害ありと判定された従業員は WAPI-AS でも高い支障度を示し、両指標の関連性が確認された。興味深いことに、WFun で「問題なし」と判定された従業員の 22%が WAPI-AS で 50%の能率低下を報告しており、一般的評価では捉えきれない潜在的労働障害の存在が示唆された。

E. 結論

花粉症によるプレゼンティーズムは企業の生産性

に無視できない影響を与えている。汎用性の高い WFun 評価指標とアレルギー疾患特化型の WAPI-AS を併用することで、その実態を多角的に可視化することができた。

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表
1. 論文発表
2. 学会発表

H. 知的財産権の出願・登録情報
なし